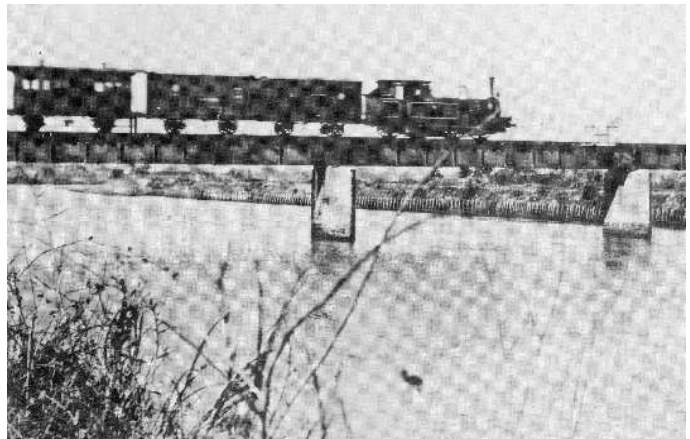


てつどう えき
鉄道と駅(1)そうぶせん けいようせん
JR総武線・京葉線

総武線

総武線は、明治27年(1894)7月に市川～佐倉間が開通、同年12月に市川～本所(錦糸町)間が開通しました。当時は「総武鉄道」といい、駅は本所・亀戸・市川・船橋・幕張・千葉・四街道・佐倉の8駅で、江戸川区域には駅がなく、蒸気機関車が黒煙を吐いて通過するだけでした。



開業当時の総武線

区内最初の駅は明治32年(1899)4月に開業した平井駅です。この一ヶ月後、小岩駅が開設されました。ちなみに新小岩駅(葛飾区)の開業は、昭和3年(1928)になります。

明治37年(1904)4月に本所～両国間が開通し、同40年(1907)9月には国有鉄道総武線となり、この年に複線化も実現しました。また昭和7年(1932)6月に両国～お茶の水間が電車で開通、翌年3月に両国～市川間の電化が完成し、同年9月に市川～船橋間、昭和10年(1935)7月には千葉までの電化が完了しました。



江戸川鉄橋を渡る蒸気機関車

この間、荒川・中川かいさく両放水路の開削によって、大正12年(1923)に平井駅は現在地へ移転しました。昭和20年(1945)の空襲で駅舎

江戸川区郷土資料室

を焼失しましたが、同24年(1949)に新築されています。駅の北口広場は昭和43年(1968)に完成し、同47年(1972)7月には東京～錦糸町間の地下線が開通したことにもない、錦糸町～津田沼間は複々線ふくふくせん化し、快速電車の運転がはじまりました。複々線化にともなって平井駅は高架下の現在の駅舎となり、旧駅舎は同49年(1974)に取り壊されました。



旧平井駅(高架になる前)

また小岩駅は昭和21年(1946)に北口ができ、同24年(1948)から2年かけて改築されましたが、その木造駅舎も複々線化によって姿を消しています。現在の駅は高架で駅下はショッピングセンター(昭和47年オープン)になり、駅構内には地元小岩の出身で第44代横綱となつた栃錦の



旧小岩駅(高架になる前)

ブロンズ像があります。とちにしき

京葉線

昭和63年(1988)12月、東京湾岸を走り東京と千葉を結ぶ、JR京葉線の新木場駅～蘇我そ駅間35.6kmが開通、葛西臨海公園駅が開業しました。これで区内を走る鉄道は、JR総武線・京成線・東西線・新宿線に次いで5本目となりました。

葛西臨海公園駅前広場にはモニュメント「海と友愛」があります。これは地球儀の上にだりんと帆船はんせんなどを組み合わせたもので高さが8mあります。また、駅のホームからは東京湾や葛西臨海水族園やディズニーランドを展望することができます。

なお京葉線の東京駅地下ホームは、もともと成田新幹線のために準備された施設でした。しかし江戸川区をはじめ関係地域住民の反対運動などで建設が中止になり、空いた場所を活用する形で京葉線ホームに転用したものです。

江戸川区郷土資料室

〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3階
TEL : 03-5662-7176 (9:00~17:00)